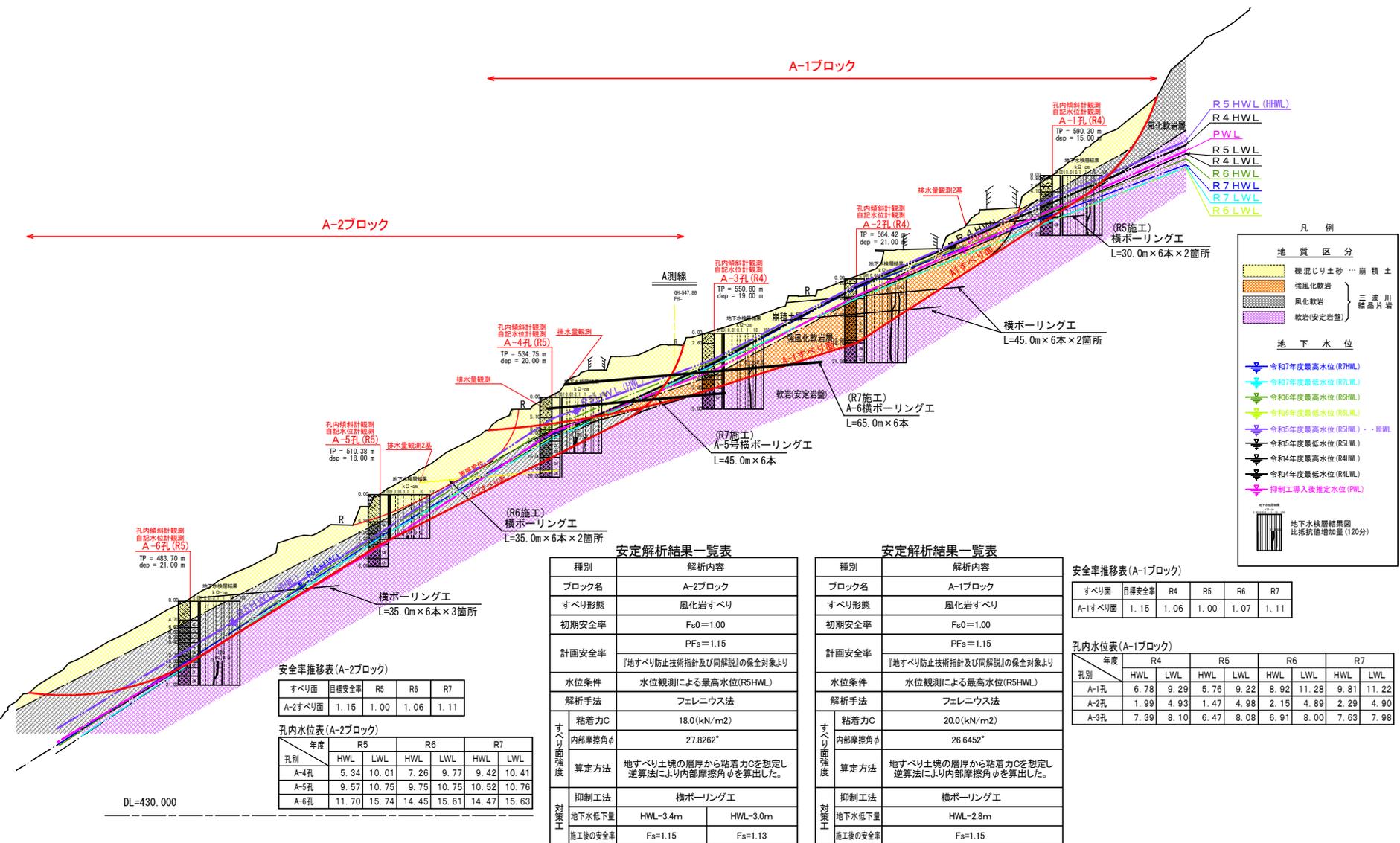


A-1~B-2ブロック  
 排水量観測 N=30回  
 管内傾斜計観測 N=65回  
 地下水位測定観測 N=65回  
 解析業務 1式

実施設計図面	
業務名	R7馬土 明谷地すべり つー宇明谷地すべり調査業務
路線名等	明谷地すべり防止区域
委託業務箇所	美馬郡つるぎ町一宇明谷
図面名	平面図
縮尺	1 : 1000 図面番号 1 / 3
会社名	
事業者名	西部総合県民局県土整備部<美馬>



凡例

地質区分	
	礫混じり土砂
	強風化軟岩
	風化軟岩
	軟岩(安定岩盤)
三波川 結晶片岩	
地下水水位	
	令和7年度最高水位 (R7HWL)
	令和7年度最低水位 (R7LWL)
	令和6年度最高水位 (R6HWL)
	令和6年度最低水位 (R6LWL)
	令和5年度最高水位 (R5HWL)
	令和5年度最低水位 (R5LWL)
	令和4年度最高水位 (R4HWL)
	令和4年度最低水位 (R4LWL)
	抑制工事導入後推定水位 (PWL)
	地下水検層結果図 比抵抗値増加量(120分)

安定解析結果一覧表

種別	解析内容
ブロック名	A-2ブロック
すべり形態	風化岩すべり
初期安全率	$Fs0=1.00$
計画安全率	$PFs=1.15$ 『地すべり防止技術指針及び同解説』の保安対象より
水位条件	水位観測による最高水位(R5HWL)
解析手法	フェレニウス法
すべり面強度	粘着力C 18.0(kN/m <sup>2</sup> ) 内部摩擦角φ 27.826°
算定方法	地すべり土壌の層厚から粘着力Cを想定し逆算法により内部摩擦角φを算出した。
抑制工法	横ボーリング工
対策工	地下水低下量 HWL-3.4m
施工後の安全率	$Fs=1.15$ $Fs=1.13$

安定解析結果一覧表

種別	解析内容
ブロック名	A-1ブロック
すべり形態	風化岩すべり
初期安全率	$Fs0=1.00$
計画安全率	$PFs=1.15$ 『地すべり防止技術指針及び同解説』の保安対象より
水位条件	水位観測による最高水位(R5HWL)
解析手法	フェレニウス法
すべり面強度	粘着力C 20.0(kN/m <sup>2</sup> ) 内部摩擦角φ 26.6452°
算定方法	地すべり土壌の層厚から粘着力Cを想定し逆算法により内部摩擦角φを算出した。
抑制工法	横ボーリング工
対策工	地下水低下量 HWL-2.8m
施工後の安全率	$Fs=1.15$

安全率推移表 (A-1ブロック)

すべり面	目標安全率	R4	R5	R6	R7
A-1すべり面	1.15	1.06	1.00	1.07	1.11

孔内水位表 (A-1ブロック)

年度	R4		R5		R6		R7	
	HWL	LWL	HWL	LWL	HWL	LWL	HWL	LWL
A-1孔	6.78	9.29	5.76	9.22	8.92	11.28	9.81	11.22
A-2孔	1.99	4.93	1.47	4.98	2.15	4.89	2.29	4.90
A-3孔	7.39	8.10	6.47	8.08	6.91	8.00	7.63	7.98

安全率推移表 (A-2ブロック)

すべり面	目標安全率	R5	R6	R7
A-2すべり面	1.15	1.00	1.06	1.11

孔内水位表 (A-2ブロック)

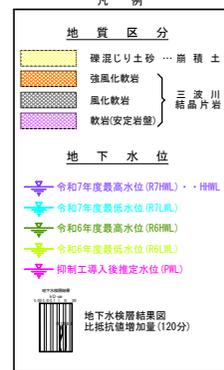
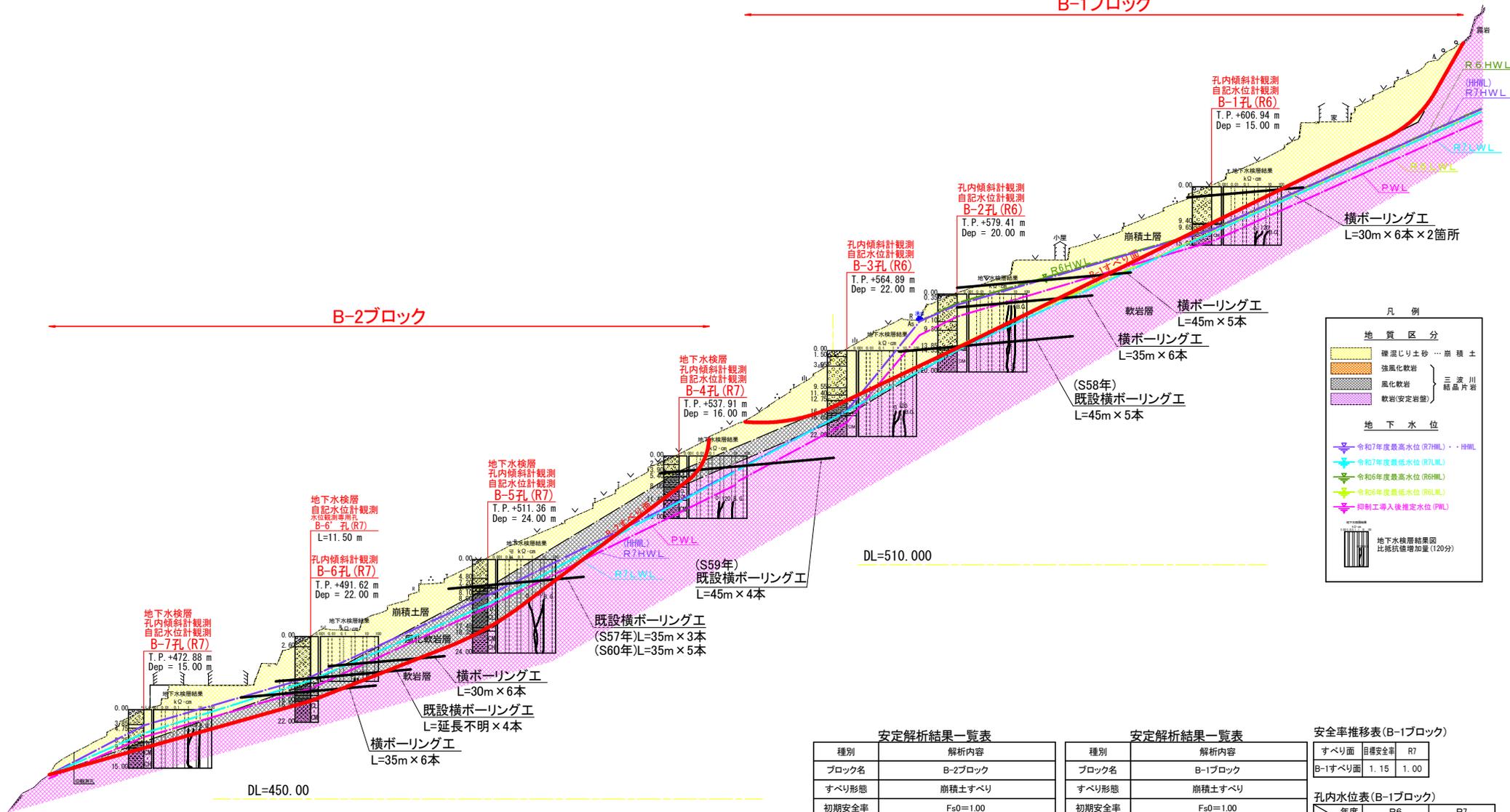
年度	R5		R6		R7	
	HWL	LWL	HWL	LWL	HWL	LWL
A-4孔	5.34	10.01	7.26	9.77	9.42	10.41
A-5孔	9.57	10.75	9.75	10.75	10.52	10.76
A-6孔	11.70	15.74	14.45	15.61	14.47	15.63

実施設計図面

業務名	R7馬土 明谷地すべり 地すべり調査業務
路線名等	明谷地すべり防止区域
委託業務箇所	美馬郡つるぎ町一宇明谷
図面名	断面図 (Aブロック)
縮尺	A1=1/500 A3=1/1000
図面番号	2/3
会社名	
事業者名	西部総合県民局農土整備部<美馬>

B-1ブロック

B-2ブロック



安定解析結果一覧表

種別	解析内容
ブロック名	B-2ブロック
すべり形態	崩積土すべり
初期安全率	Fs0=1.00
計画安全率	PFs=1.15 『地すべり防止技術指針及び同解説』の保全対象より
水位条件	水位観測による最高水位(R7HWL)
解析手法	フェレニウス法
すべり面強度	粘着力C 12.0 (kN/m <sup>2</sup> ) 内部摩擦角φ 28.419° 算定方法 地すべり土塊の層厚から粘着力Cを想定し逆算法により内部摩擦角φを算出した。
対策工	抑制工法 横ボーリング工 地下水低下量 HWL-3.0m 施工後の安全率 Fs=1.15

安定解析結果一覧表

種別	解析内容
ブロック名	B-1ブロック
すべり形態	崩積土すべり
初期安全率	Fs0=1.00
計画安全率	PFs=1.15 『地すべり防止技術指針及び同解説』の保全対象より
水位条件	水位観測による最高水位(R7HWL)
解析手法	フェレニウス法
すべり面強度	粘着力C 11.0 (kN/m <sup>2</sup> ) 内部摩擦角φ 27.224° 算定方法 地すべり土塊の層厚から粘着力Cを想定し逆算法により内部摩擦角φを算出した。
対策工	抑制工法 横ボーリング工 地下水低下量 HWL-7.0m    HWL-3.0m 施工後の安全率 Fs=1.15        Fs=1.08

安全率推移表(B-1ブロック)

すべり面	目標安全率	R7
B-1すべり面	1.15	1.00

孔内水位表(B-1ブロック)

孔別	R6		R7	
	HWL	LWL	HWL	LWL
B-1孔	10.97	11.71	11.09	11.85
B-2孔	2.30	13.40	2.80	14.44
B-3孔	-	-	15.48	15.56

安全率推移表(B-2ブロック)

すべり面	目標安全率	R7
B-1すべり面	1.15	1.00

孔内水位表(B-2ブロック)

孔別	R7	
	HWL	LWL
B-4孔	11.54	11.83
B-5孔	9.21	11.50
B-6孔	10.36	11.25
B-7孔	4.02	6.07

実施設計図面

業務名	R7工事 明谷地すべり づー宇明谷 地すべり調査業務
路線名等	明谷地すべり防止区域
委託業務箇所	美馬部つるぎ町 一宇明谷
図面名	断面図 (B-2ブロック)
縮尺	A1=1/500 A3=1/1000
図面番号	3 / 3
会社名	
事業者名	西部総合県民局農土整備課<美馬>